

水稻の収穫適期が早まっています！適期刈取りをお願いします！

宮城県米づくり推進本部

令和6年8月28日

○ 出穂後の高温により刈取適期は例年より早まっています。

7月29日に出穂期を迎えた「ひとめぼれ」では、9月3日から9月12日頃(去年とほぼ同時期)に収穫適期を迎える見込みです。

○ 刈遅れは、胴割粒や着色粒が増加し、玄米品質の低下につながります。また、倒伏してしまうと穂発芽の危険も高まります。

○ 農業倉庫・カントリーエレベーターでの受入れや、農産物検査についても早めに対応いただく予定です。コンバインや乾燥機の点検などを進め、刈取適期になったら速やかに刈取りしましょう。

○ 刈取適期の目安

出穂後の積算平均気温による刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」で940~1,100℃です。

表1 地帯区分・出穂期別の「ひとめぼれ」刈取適期の目安(8月28日現在)

地帯区分	積算平均気温	出穂期			
		7/24	7/29	8/4	8/9
		出穂期の翌日から各積算平均気温に到達する日(推定)			
南部平坦	940℃	8/28	9/3	9/10	9/16
	1,000℃	8/31	9/6	9/12	9/18
	1,100℃	9/4	9/10	9/17	9/23
仙台湾沿岸	940℃	8/29	9/3	9/10	9/17
	1,000℃	8/31	9/6	9/13	9/19
	1,100℃	9/4	9/10	9/18	9/25
北部平坦	940℃	8/29	9/4	9/11	9/18
	1,000℃	9/1	9/6	9/14	9/21
	1,100℃	9/5	9/11	9/19	9/26
西部丘陵	940℃	8/30	9/4	9/12	9/18
	1,000℃	9/2	9/7	9/15	9/22
	1,100℃	9/6	9/12	9/20	9/28
三陸沿岸	940℃	8/30	9/5	9/12	9/19
	1,000℃	9/2	9/8	9/15	9/22
	1,100℃	9/7	9/13	9/21	9/28
山間高冷	940℃	9/1	9/6	9/14	9/21
	1,000℃	9/3	9/9	9/17	9/25
	1,100℃	9/8	9/15	9/23	10/1

表1の見方

北部平坦地帯で出穂期が7月29日の場合、9月4日~9月11日が刈取適期と見込まれます。

注1 積算平均気温は、「ひとめぼれ」の刈取早限(940℃程度)、刈取適期(1,000℃程度)、刈取晩限(1,100℃程度)の3区分。

2 出穂期の翌日から各積算平均気温に到達する日(推定)は、出穂期翌日からの積算平均気温が940℃、1,000℃、1,100℃を越えた日とした。

3 気温の積算値は、8月27日までは各アメダス地点の実測値、8月28日以降は平年値を用いた。

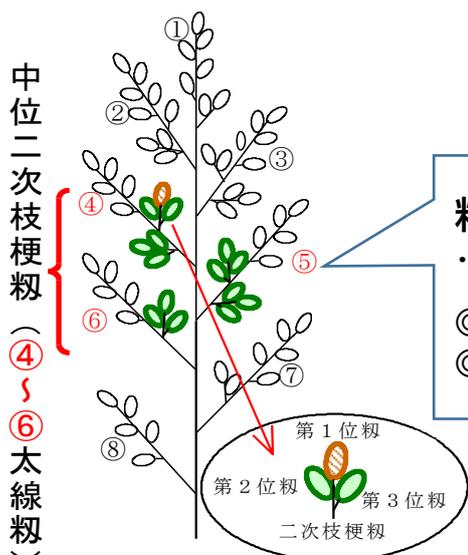
4 使用したアメダス地点は、「北部平坦」:古川、築館、米山、鹿島台、大衡、「南部平坦」:白石、丸森、「仙台湾沿岸」:亘理、名取、仙台、石巻、「西部丘陵」:蔵王、川渡、「三陸沿岸」:気仙沼、南三陸、「山間高冷」:新川

表2 品種ごとの出穂後積算平均気温による刈取適期の目安

品種名	刈取早限	～	刈取晩限
ひとめぼれ	940℃	～	1,100℃
ササニシキ	930℃	～	1,150℃
だて正夢	1,020℃	～	1,060℃
金のいぶき	1,050℃	～	1,150℃
つや姫	1,000℃	～	1,200℃

刈取時期の注意点

- ・刈取晩限をすぎると、胴割粒や着色粒が増加し外観品質が低下するだけでなく、食味も低下します。
- ・倒伏したほ場では、穂発芽粒の発生危険性が高まります。刈取適期に到達したら、速やかに刈取りましょう。
- ・出穂期や籾数の違いにより登熟の進展には差が生じます。ほ場ごとに籾の熟色や籾水分等をよく確認して刈取適期を判定しましょう。



籾色から見る刈取適期

・・・穂の中央部付近の二次枝梗を見ましょう。

◎刈取早限：第1位籾がほとんど黄化した頃

◎刈取晩限：第2・3位籾が半分程度黄化した頃

○ 荷受・集荷の体制について

各集荷団体では、農業倉庫・カントリーエレベーターの受入れや農産物検査の日程・体制について、早めの調整を進めているところです。適期収穫に向け、早めにコンバインや乾燥機の点検など準備を進めましょう。

【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】

秋の農作業安全確認運動 ～令和6年9月1日から11月30日まで～